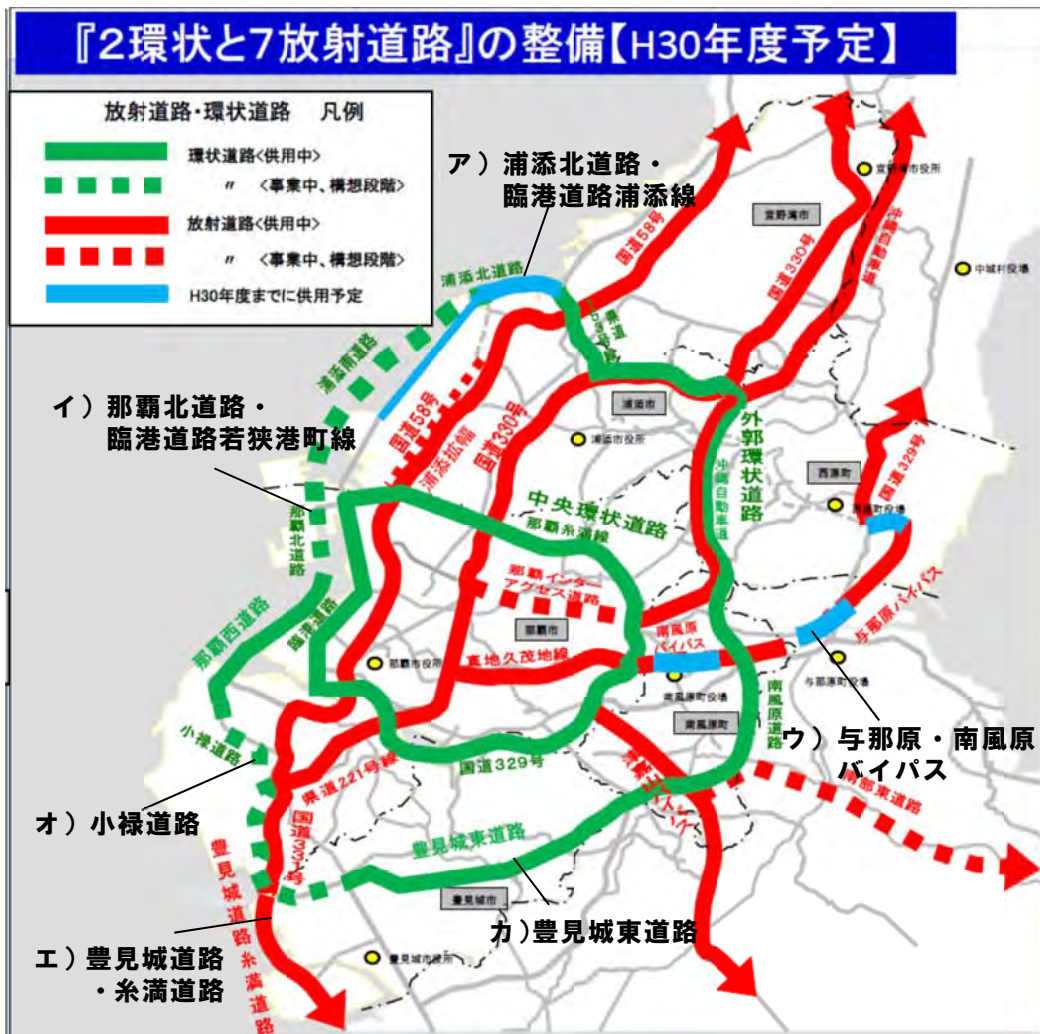


(4) 広域都市基盤の動向の把握

(4) - 1 道路・交通

(4) - 1 - 1 2環状7放射道路

- 通過する交通を迂回させる環状機能と集中する交通を分散させる放射機能の強化を目的に整備を実施
- 浦添北道路・臨港道路浦添線（沖縄西海岸道路）が平成 30 年 3 月 18 日開通
- 那覇北道路臨港道路若狭港町線（沖縄西海岸道路）は平成 30 年代後半に完成予定
- 南風原バイパス・与那原バイパスは、それぞれ平成 26 年 6 月、平成 27 年 7 月に一部開通済、平成 30 年度には全面供用予定
- 平成 27 年 3 月に豊見城東道路が、平成 28 年 3 月に糸満道路が供用



出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料に一部加筆

ア) 浦添北道路・臨港道路浦添線（沖縄西海岸道路）

<事業スケジュール>

■ 浦添北道路

H17.9.13 都市計画決定  
 H18年度 事業化  
 H20年度 用地着手  
 H22年度 工事着手  
 H30.3.18 開通

■ 臨港道路浦添線

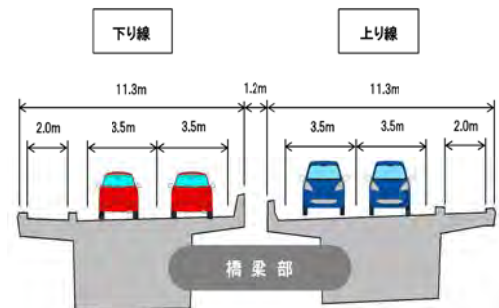
H14年度 港湾計画に位置付け  
 H17年度 事業化  
 H22年度 用地着手・工事着手  
 H30.3.18 開通

<道路諸元>

■ 浦添北道路  
 道路規格： 第1種第3級  
 区間： 宜野湾市宇字地泊～浦添市港川  
 延長： 2km  
 設計速度： 80km/h  
 車線数： 2車線  
 標準横断面：



■ 臨港道路浦添線  
 第4種第1級  
 浦添市港川～浦添市西洲  
 2.5km  
 60km/h  
 4車線



出典：南部国道事務所（H18.10）

**イ) 那覇北道路 臨港道路若狭港町線 (沖縄西海岸道路)**

<事業スケジュール>

H25.4 都市計画決定

H26 年度 事業化

H30 年代後半 完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定

<道路諸元>

道路規格： 第1種第3級

延長： 約2.2km

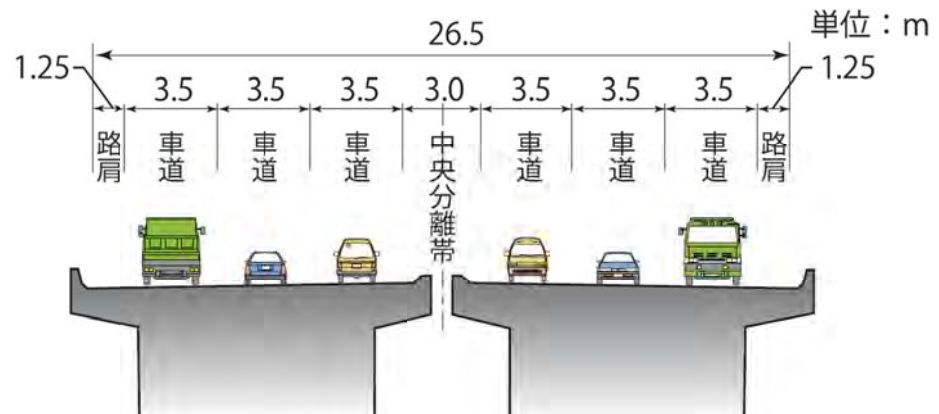
事業区間： 那覇市港町～那覇市若狭

設計速度： 80 km/h

車線数： 6車線

計画幅員： 26.5m

標準横断面：



出典：国土交通省港湾局

ウ) 与那原バイパス・南風原バイパス (国道 329 号)

<事業スケジュール>

■ 与那原バイパス

■ 南風原バイパス

H18.3~26.6 一部開通済 (暫定)

H16.5~H27.7 一部開通済 (暫定・完成)

H30 年度 一部開通予定 (暫定)

H30 年度 一部開通予定 (暫定)

※H29.時点 全体用地進捗率約 98%

※H29.3 時点 全体用地進捗率約 98%

<道路諸元>

■ 与那原バイパス

■ 南風原バイパス

道路規格： 第 4 種第 1 級

第 4 種第 1 級

区間： 西原町字小那覇~南風原町字与那覇

南風原町字与那覇~那覇市上間

延長： 4,200m

2,800m

設計速度： 60km/h

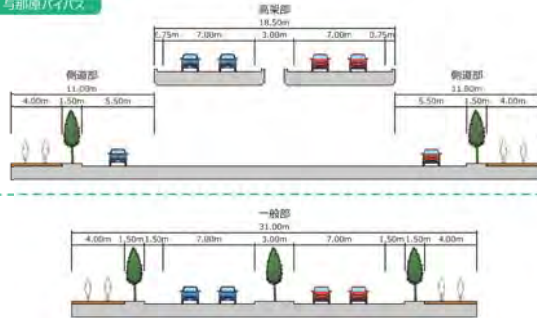
60km/h

車線数： 4 車線

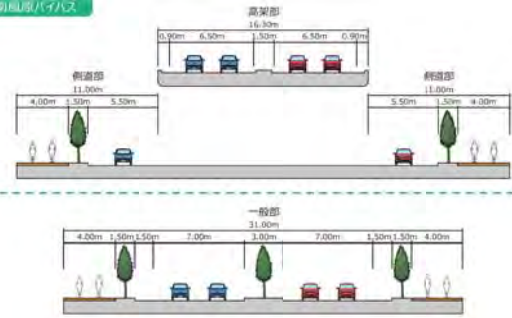
4 車線

標準断面：

与那原バイパス



南風原バイパス



出典：内閣府 沖縄総合事務局

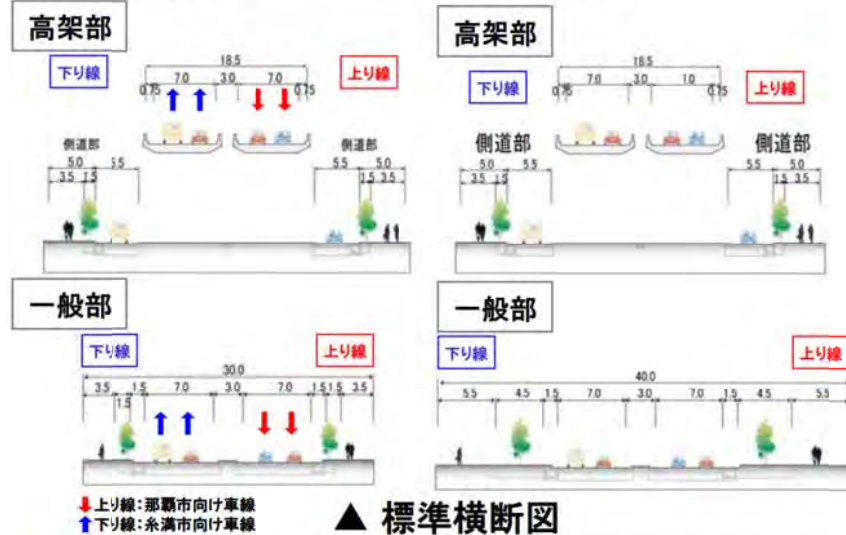
エ) 豊見城道路・糸満道路 (国道 331 号 沖縄西海岸道路)

<事業スケジュール>

■ 豊見城道路		■ 糸満道路	
H18.2	2車線、2.3km 供用	H23	H23 開通 (暫定・供用)
H28.3	4車線供用	H29.3	完成 (4車線供用)
H29.4	豊見城・糸満道路の旧道区間を沖縄総合事務局から沖縄県へ移管		

<道路諸元>

	■ 豊見城道路	■ 糸満道路
道路規格:	第4種第1級	第4種第1級
区間:	豊見城市瀬長～糸満市西崎	糸満市西崎～糸満市真栄里
延長:	4.0km	3.4km
設計速度:	60km/h	60km/h
標準断面:	[豊見城道路]	[糸満道路]



出典：沖縄総合事務局記者発表資料

**オ) 小禄道路 (国道 506 号)**

< 事業スケジュール >

H21 年度                      都市計画決定

H23 年度                      事業開始

< 道路諸元 >

道路規格：        第 1 種第 3 級

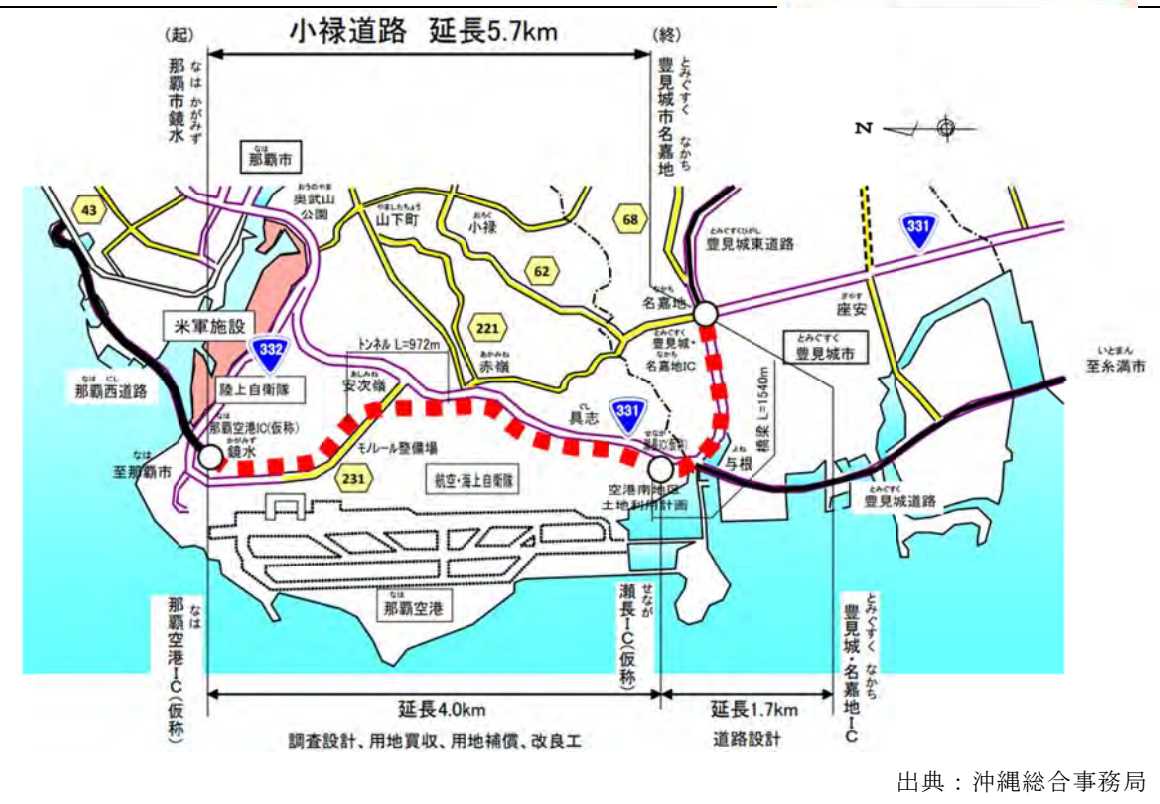
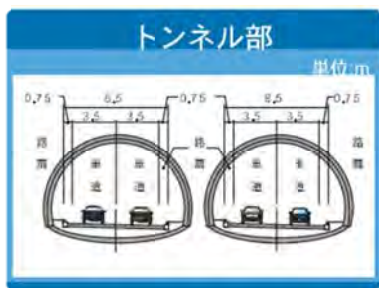
事業区間：        那覇市鏡水～豊見城市名嘉地

延長：            5.7km

設計速度：       80km/h

車線：            4 車線

計画断面図：



カ) 豊見城東道路 (国道 506 号)

< 事業スケジュール >

H15.4・H20.3 2車線暫定開通

H26.3・H27.3 4車線開通

< 道路諸元 >

道路規格： 第1種第3級

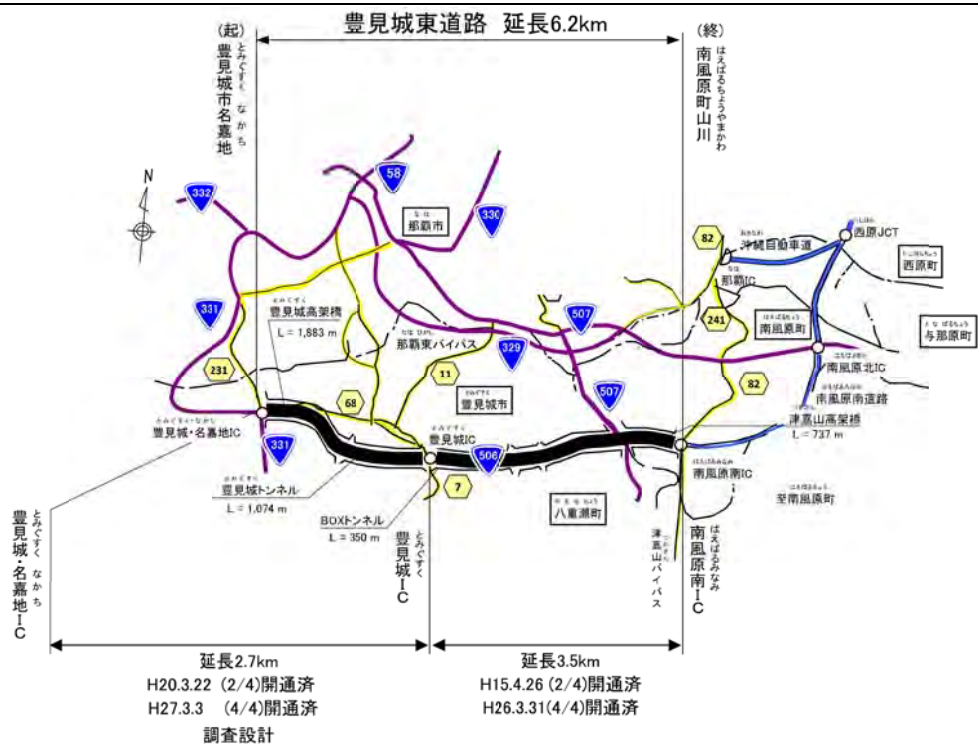
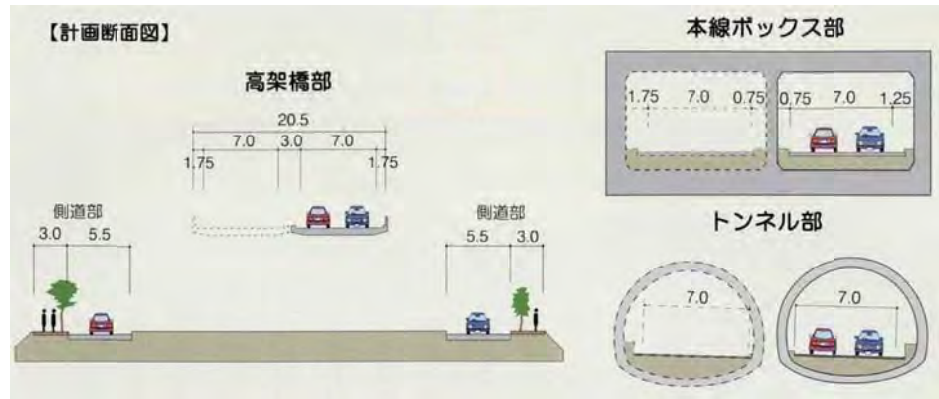
事業区間： 豊見城市名嘉地～南風原町山川

延長： 6.2km

設計速度： 80km/h

車線： 4車線

計画断面図：



出典：沖縄総合事務局

キ) 南部東道路 (地域高規格道路)	
<p>&lt;事業スケジュール&gt;</p> <p>H23.4 事業着手 (実施設計等)</p> <p>H23.9 都市計画決定</p> <p>H27.8 起工</p>	
<p>&lt;道路諸元&gt;</p> <p>道路規格： 第3種第2級</p> <p>事業区間： 南風原町字山川 ～南城氏玉城字垣花</p> <p>延長： 8.3km</p> <p>設計速度： 60km/h</p> <p>車線： 4車線 (暫定2車線)</p> <p>※垣花～知念は調査区間となっている。</p>	
出典：沖縄総合事務局	

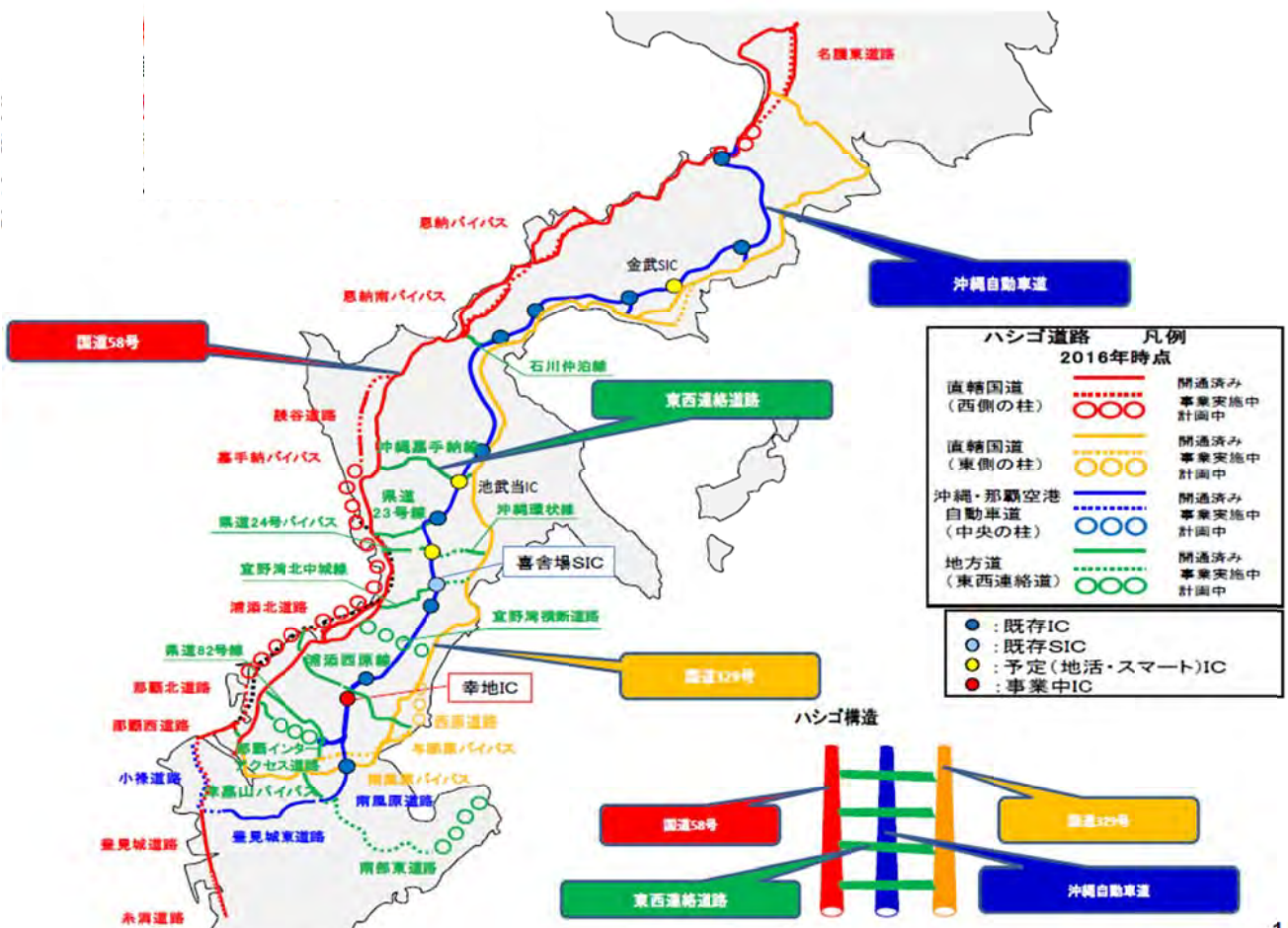
ク) 那覇インターアクセス道路 (地域高規格道路)	
<p>&lt;事業スケジュール&gt;</p> <p>H10.6 計画路線指定</p> <p>H11.12 調査区間指定</p>	
<p>&lt;道路諸元&gt;</p> <p>事業区間： 那覇市真嘉比 ～南風原町新川</p> <p>延長： 3.4km</p>	
出典：沖縄総合事務局	

ケ) 浦添拡幅 (国道58号)	
<p>&lt;事業スケジュール&gt;</p> <p>H27.12 車線拡幅に向けた測量開始</p> <p>※用地である米軍牧港補給地区 (キャンプ・キンザー) については、平成29年度内の部分返還を目指している。</p>	
<p>&lt;道路諸元&gt;</p> <p>区間： 浦添市仲西交差点付近～城間交差点付近</p> <p>延長： 約2.0km</p> <p>車線： 6車線⇒8車線</p>	



(4) - 1 - 2 ハシゴ道路

- 平成24年度事業開始 北谷拡幅 (国道58号)
- 嘉手納バイパス (国道58号)
- 宜野湾北中城線
- 浦添西原線4車線化
- 沖縄環状線
- 県道24号線バイパス



1.

出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料

**ア) 北谷拡幅 (国道 58 号)**

< 事業スケジュール >

H21 年度 都市計画決定

H24 年度 事業化

H26 年度 工事着手

H28 年度 用地着手

< 道路諸元 >

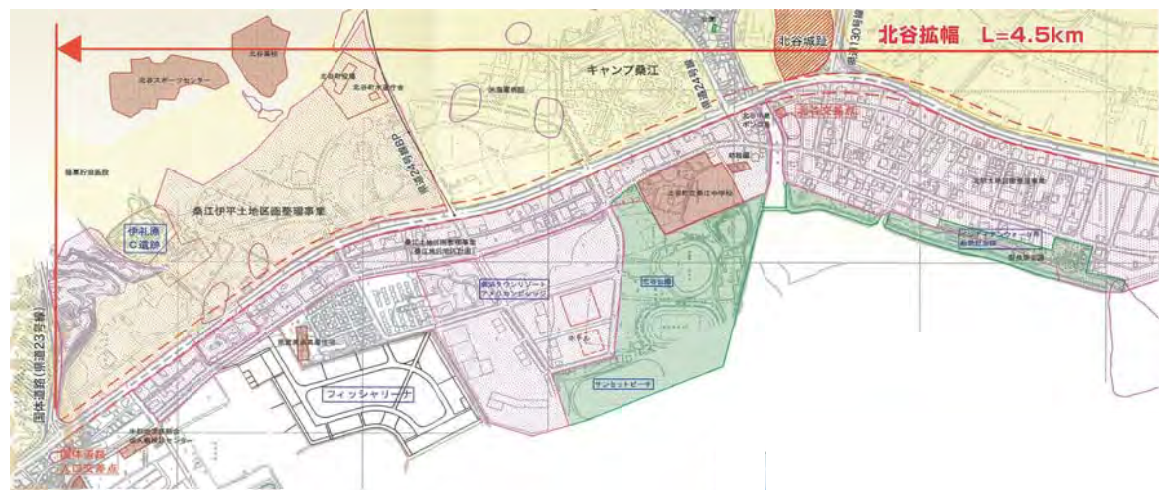
区間： 北谷町浜川  
 ～宜野湾市伊

延長： 4.5km

車線数： 8 車線

道路幅員： 50m (標準部)

全体事業費： 約 230 億円



出典：南部国道事務所 (2009.12)

イ) 嘉手納バイパス (国道 58 号 沖縄西海岸道路)

<事業スケジュール>

S62 年度 事業化

H6 年度 用地着手

H14 年度 工事着手

<道路諸元>

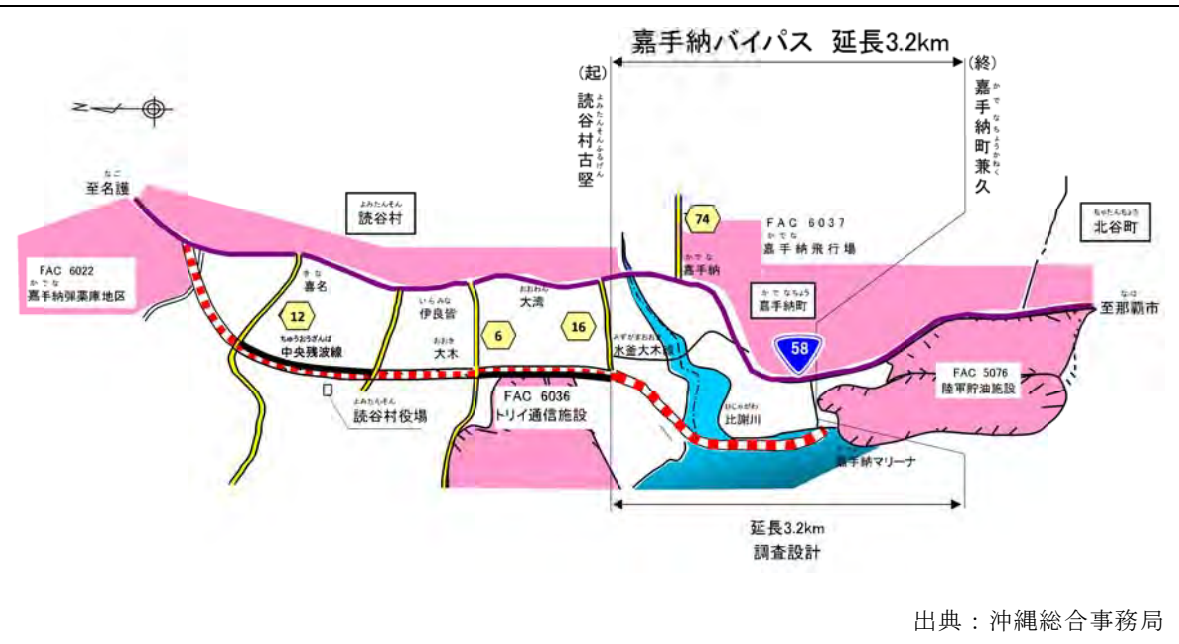
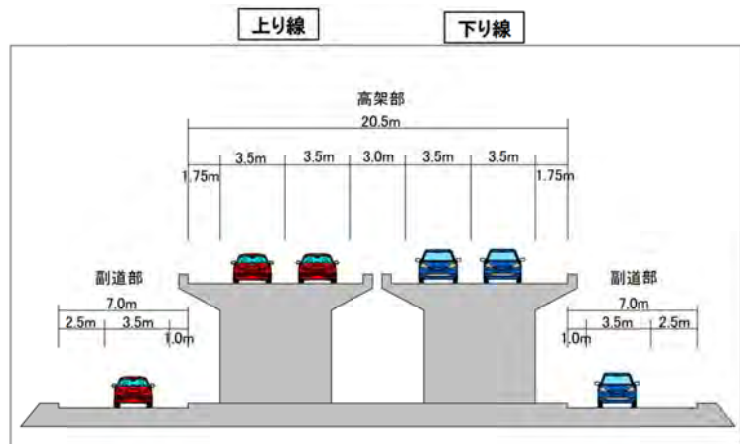
事業区間： 読谷村古堅  
～ 嘉手納町兼久

延長： 3.2km

道路規格： 第 1 種第 3 級

車線数： 4 車線

設計速度： 60km/h



出典：沖縄総合事務局

ウ) 宜野湾北中城線 (県道 81 号)

< 事業スケジュール >

H11 年度 事業着手

H29 年度 トンネル本体工事着工

< 道路諸元 >

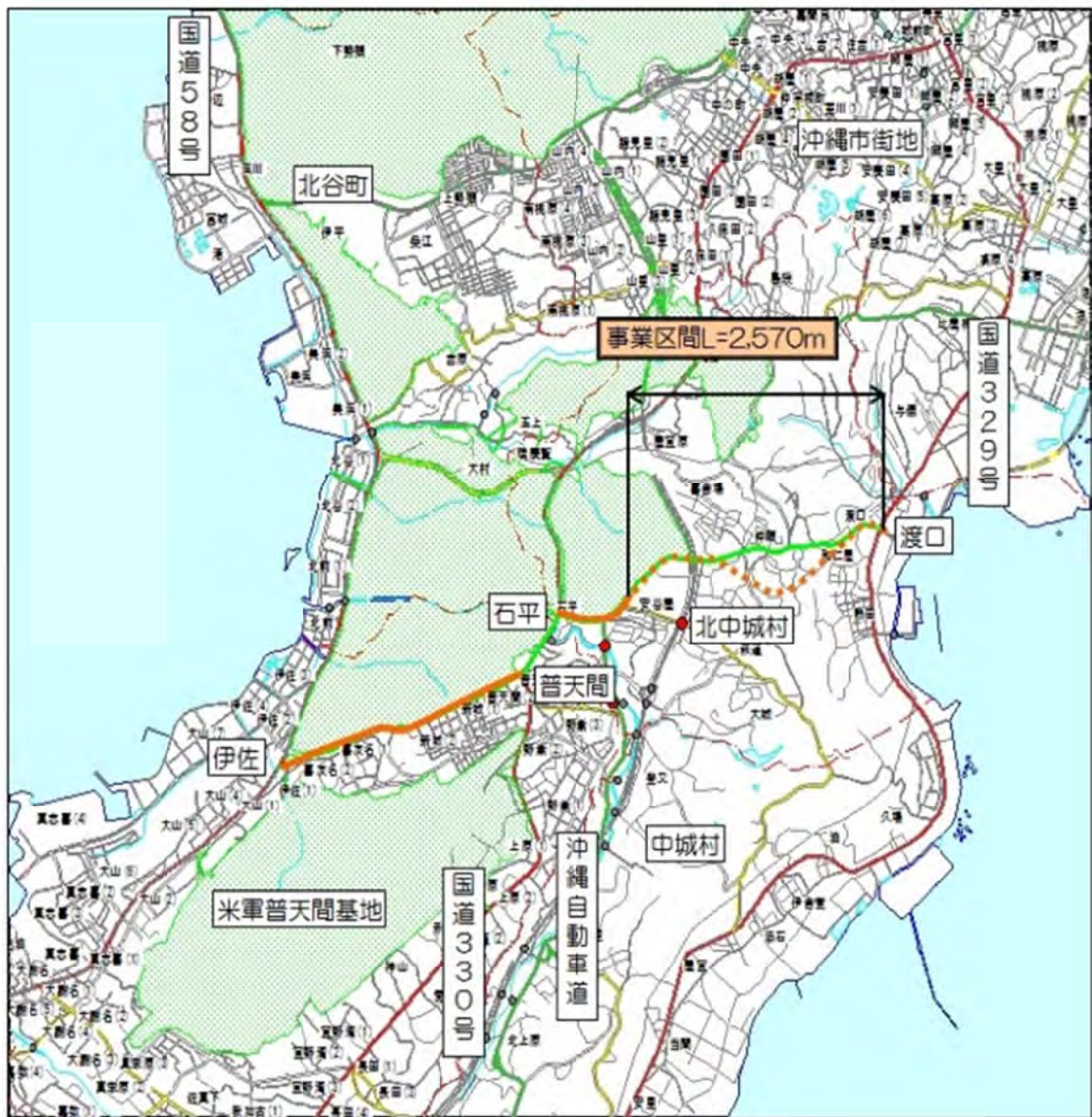
事業区間： 北中城村安谷屋  
～北中城村渡口

延長： 2,570m

幅員： 30m

車線数： 4 車線

主要構造物： トンネル 263m



出典：沖縄県 HP

**エ) 浦添西原線（港川道路 県道 38 号）**

<事業スケジュール>

H19 年度 事業着手

H30.3.31 一部開通

<道路諸元>

事業区間： 浦添市城間～浦添市港川

延長： 1,550m

幅員： 30m

車線数： 4 車線



出典：沖縄県 HP

オ) 浦添西原線 (県道 38 号)

< 事業スケジュール >

H15 年度 事業着手

< 道路諸元 >

事業区間： 西原町嘉手苅～西原町小那覇

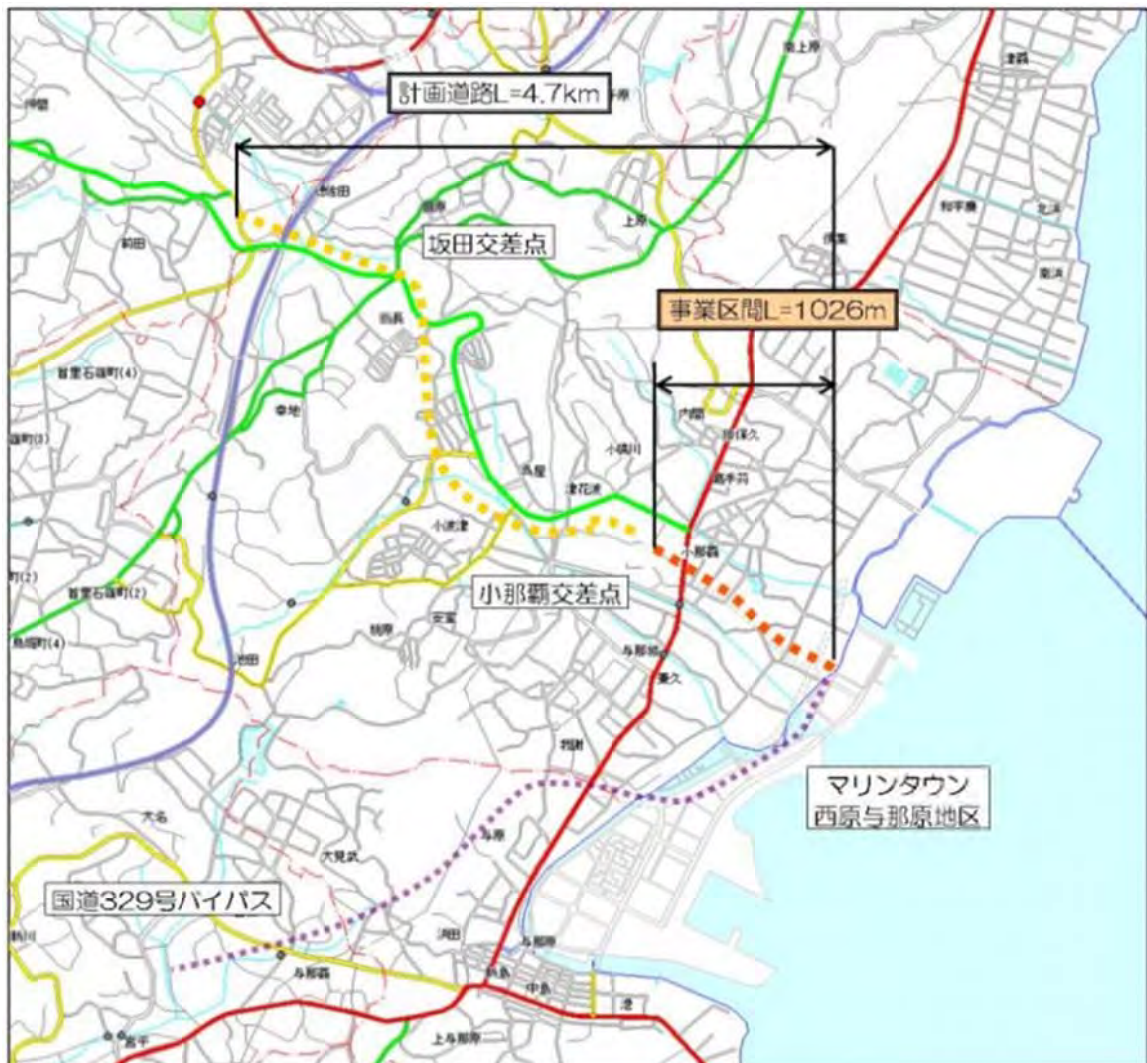
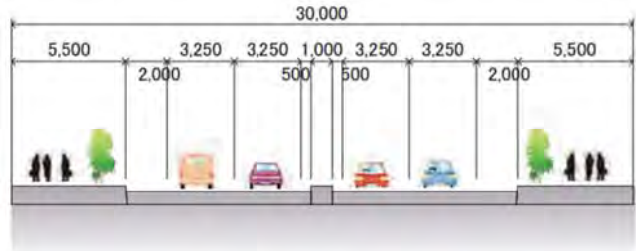
延長： 1,026m

道路規格： 第 4 種 1 級

幅員： 幅員 30m

車線数： 2 車線 → 4 車線

設計速度： 60km/h



出典：沖縄県 HP

**カ) 沖縄環状線（県道 85 号）**

<事業スケジュール>

H4 年度 事業着手

H25.3 全線供用開始

<道路諸元>

事業区間： 北中城村比嘉～沖縄市屋根

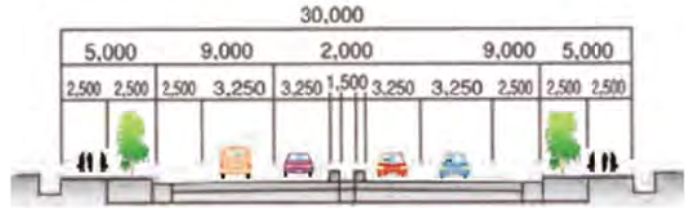
延長： 2,850m

道路規格： 第 4 種 1 級

幅員： 30m

車線数： 4 車線

主要構造物： 橋梁 3 橋、  
トンネル 259m



出典：沖縄県 HP

**キ) 県道 24 号線バイパス**

<事業スケジュール>

H15 年度            事業着手

<道路諸元>

事業区間：            北谷町桑江～沖縄市南桃原

延長：                1,720m

道路規格：            第 4 種第 1 級

車線数：              4 車線

幅員：                32m

設計速度：            50km/h



出典：沖縄県 HP



(4) - 1 - 3 中南部縦貫道路・宜野湾横断道路

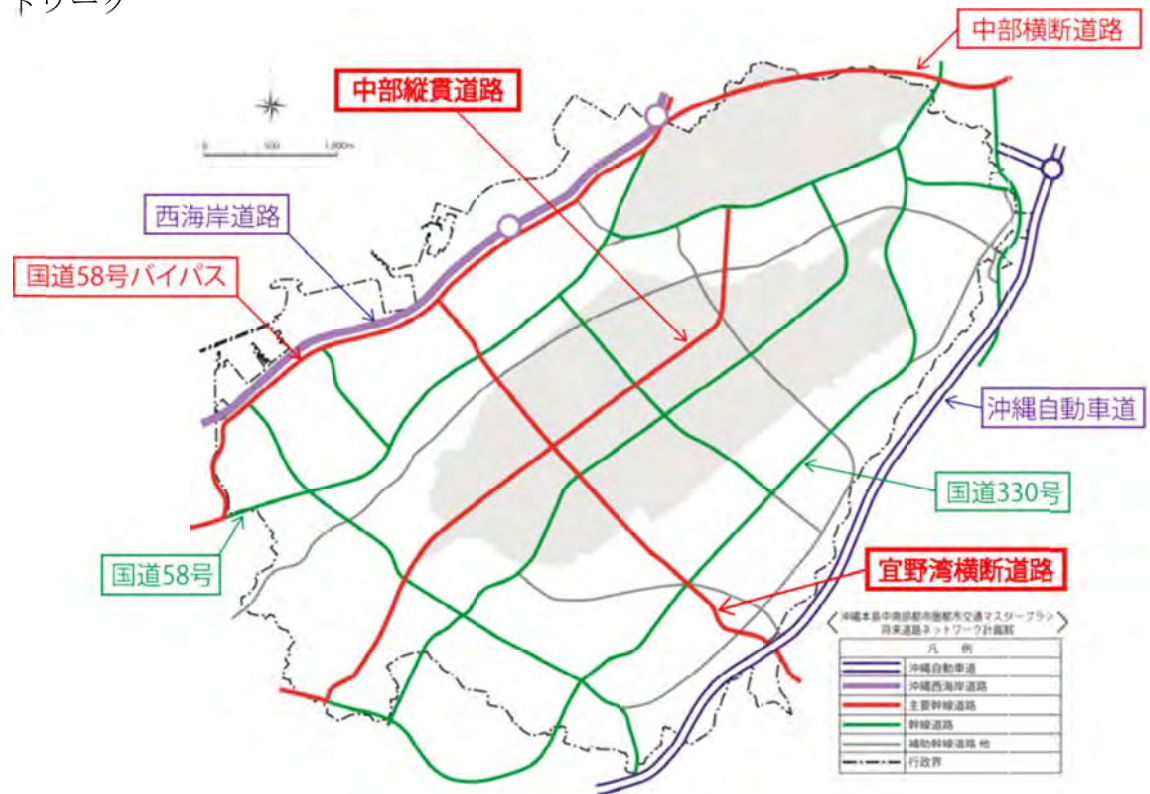
○宜野湾市においては「主要幹線道路」として「主要幹線道路」として新たな骨格を形成、周辺の既成市街地との連絡等の役割を期待

ア) 宜野湾市の将来道路ネットワークによる広域道路の位置づけ

宜野湾市都市交通マスタープランでは、上位計画である沖縄本島中南部都市圏都市交通マスタープランで位置づけられた将来道路ネットワークを踏まえ、幹線道路ネットワークを位置づけている。

中部縦貫道路及び宜野湾横断道路は、「主要幹線道路」として、宜野湾市の新たな骨格を形成するとともに、周辺の既成市街地と連絡することから、その他の幹線道路とのネットワークを構築することにより、地域振興への寄与をはじめとする都市活力の創造・向上が期待されている。

沖縄本島中南部都市圏都市交通マスタープランで位置づけられている将来道路ネットワーク



出典：都市交通マスタープラン・都市交通戦略（平成 24 年 3 月）宜野湾市一部加工

(4) - 1 - 4 モノレール延長

- 観光客の増加に伴い利用者も増加
- 平成 26 年 10 月から共通 IC 乗車券を導入、翌年 4 月からバス 4 事業者も導入。
- 現在、首里駅～沖縄自動車道西原インター付近の約 4.1km、4 駅を延長工事中  
(平成 31 年春の開業目標)。モノレールと高速道路の結節点を整備 (高速バス、パーク&モノライド、パーク&バスライド)

<利用者数の経年推移>



- <概要> モノレール延長は H31 開業目標
- 区間： 首里駅～沖縄自動車道西原インター付近
- 延長： 4.1km
- 新駅： 4 駅 (石嶺駅、経塚駅、浦添前田駅、ただこ浦西駅)



出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料

(4) - 1 - 5 基幹バス

- 定時運行と利便性向上のため国道 58 号（那覇市～沖縄市）において、平成 31 年度を目途に基幹バスを導入する構想。現在は、バス専用レーンの拡大等を調整中。
- 基幹バス導入を目指し、急行バス実証実験、バス網再編に向けた検討を実施。
- 自動走行技術などを活用した沖縄次世代都市交通システム（Okinawa-ART）に向けた取組みも実施。
- 公共車両優先システム（PTPS）に対応した車載器を設置。

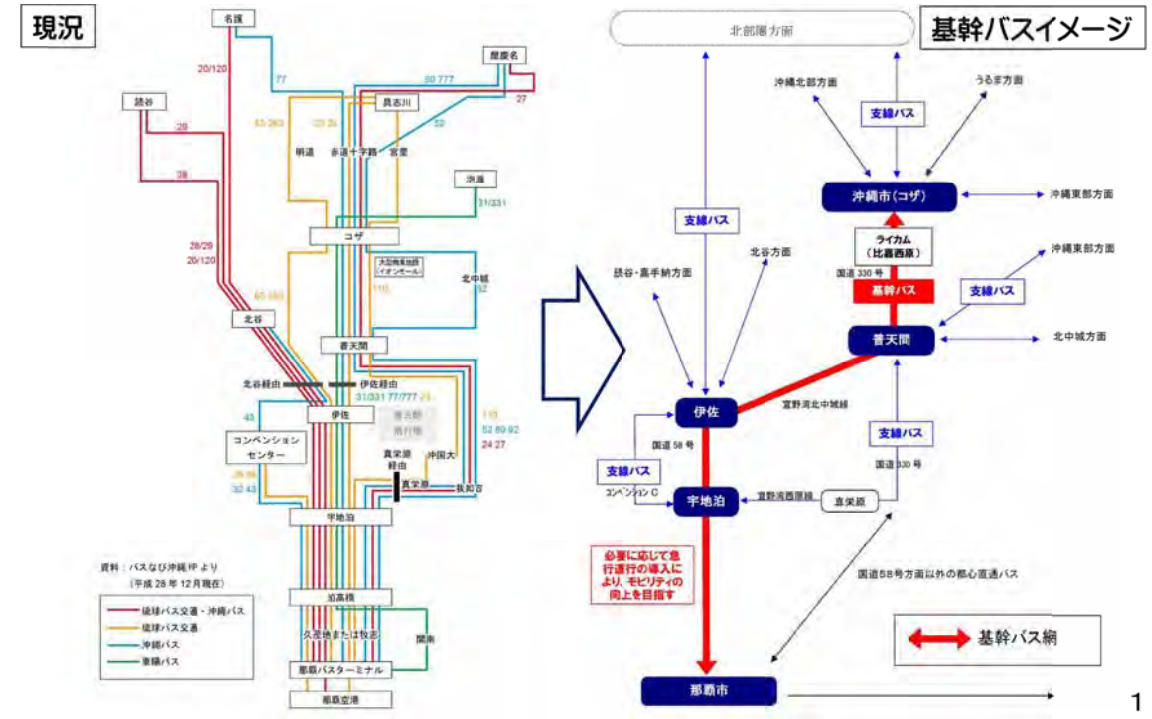
<事業スケジュール>

H28～H30	急行バス実証実験、バス網再編の検討、PTPS 対応車載器設置
H29	（仮称）沖縄次世代都市交通システム検討会発足
H29～H30	基幹バス導入の検討
H30～H31	第 2 段階バスレーン延長
H31	基幹バス導入実施、基幹バスへ ART 導入実施
H31～	段階的なバス網再編実施
H33～	第 3 段階バスレーン延長

区間： 那覇市～沖縄市（国道 58 号）  
 ※平成 27 年 2 月 2 日よりバスレーンを延長



ルート：



### 沖縄次世代都市交通システム (Okinawa-ART) のイメージ

**乗降時間短縮、乗換安全性向上**

- ・ノンステップ化
- ・自動走行(正着)技術 ※
- ・ICカード (OKICA)

**安全性・快適性向上**

- ・高度運転支援 ※
- ・車椅子等乗客対応制御 ※
- ・横道加速制御、衝突回避制御 ※

**速達性、定時運行性の向上**

- ・基幹バス
- ・バス専用、低床レーン
- ・PPSの高道化 ※
- ・支線→支線バス、モノレール等のシームレスな乗り継ぎ

**運行の効率化**

- ・バス専用レーン (基幹、支線)

**観光客への対応**

- ・多言語化
- ・観光情報発信
- ・全国系IC対応

**トータルデザイン**

- ・PRの新しい先進技術の導入
- 買したデザインイメージ
- ・まちづくりと一体となったシステムデザイン

**待合空間のユニバーサル化**

- ・ハイグレードバス停
- ・情報発信 (運行情報)



出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料



出典：沖縄県警 HP (平成 28 年 8 月)

(4) - 1 - 6 鉄軌道

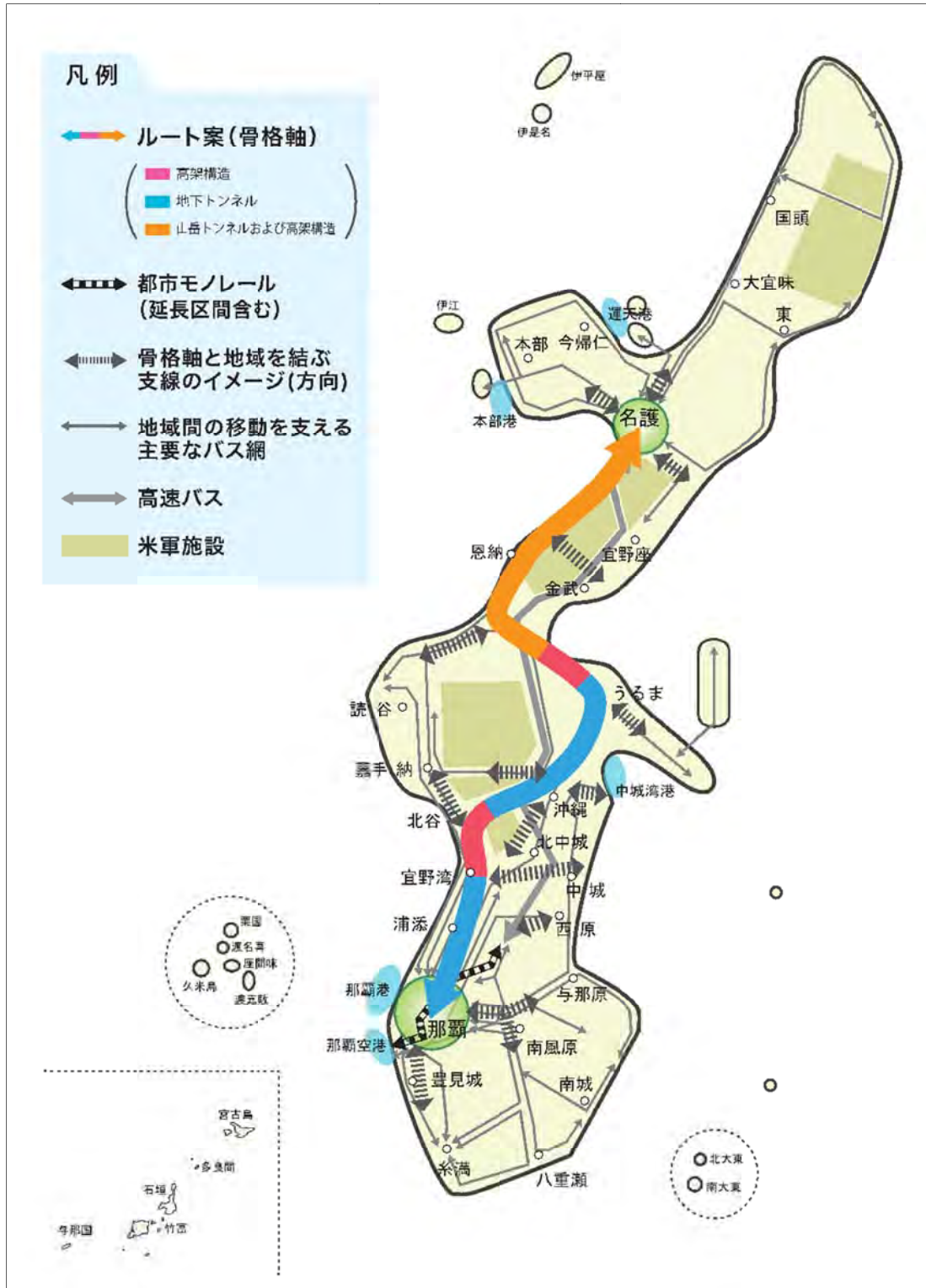
- 鉄軌道の構想段階における計画案づくりは、2014年10月より県民や市町村、関係機関と情報共有を図りながら、段階的に検討を実施。
- 第8回計画検討委員会までに想定されるルートとして、7案をとりまとめており、全てのルートで那覇～宜野湾間を通り、国道58号または国道330号を導入空間として想定している。
- 2018年3月、沖縄鉄軌道計画検討委員会は、那覇市から浦添市、宜野湾市、北谷町、沖縄市、うるま市、恩納村を経由して名護市に至る推奨ルートなどを盛り込んだ構想段階の計画書案をとりまとめている。

<複数ルートの想定構造>



出典：沖縄鉄軌道計画案づくり HP (第5回沖縄鉄軌道技術検討委員会資料より)

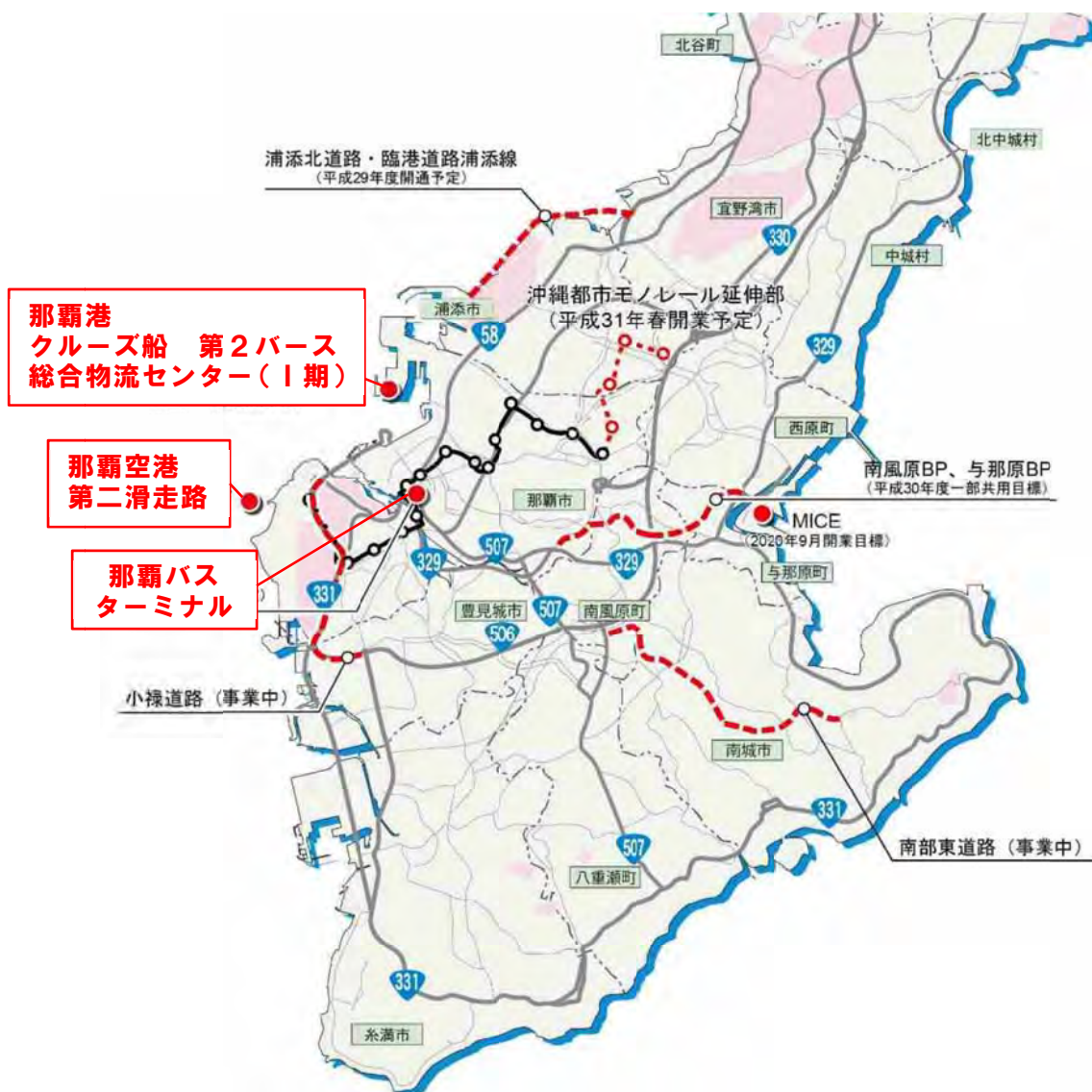
< C派生案（推奨ルート） >



出典：おきなわ鉄軌道ニュース（第7号）

(4) - 1 - 7 その他

- 那覇空港滑走路増設事業は、平成32年3月末の供用に向けて整備を着実に推進
- 那覇バスターミナル：安全・快適な街づくりの一環として交通結節点機能を強化するため、バスターミナル地区の再開発事業が進められている。
- 那覇港では、岸壁の拡張整備、新たなクルーズバースの確保などにより寄港増・大型化に対応
- その他自治体による実験等を実施している。

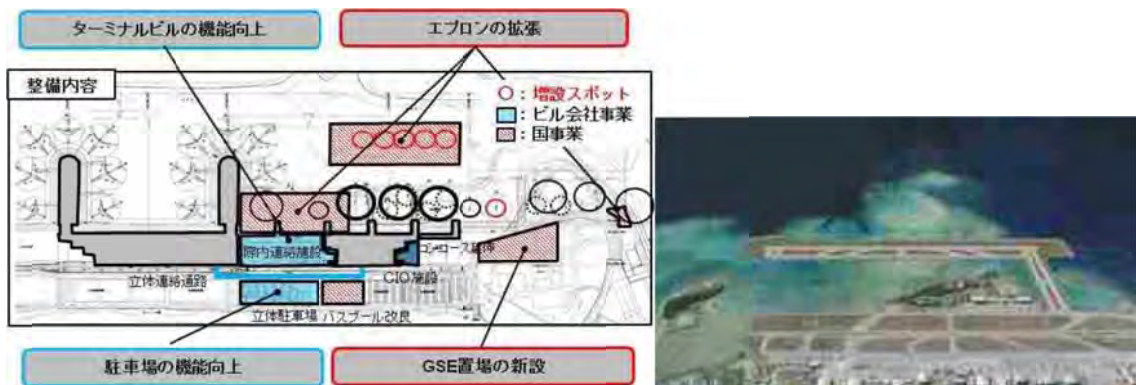
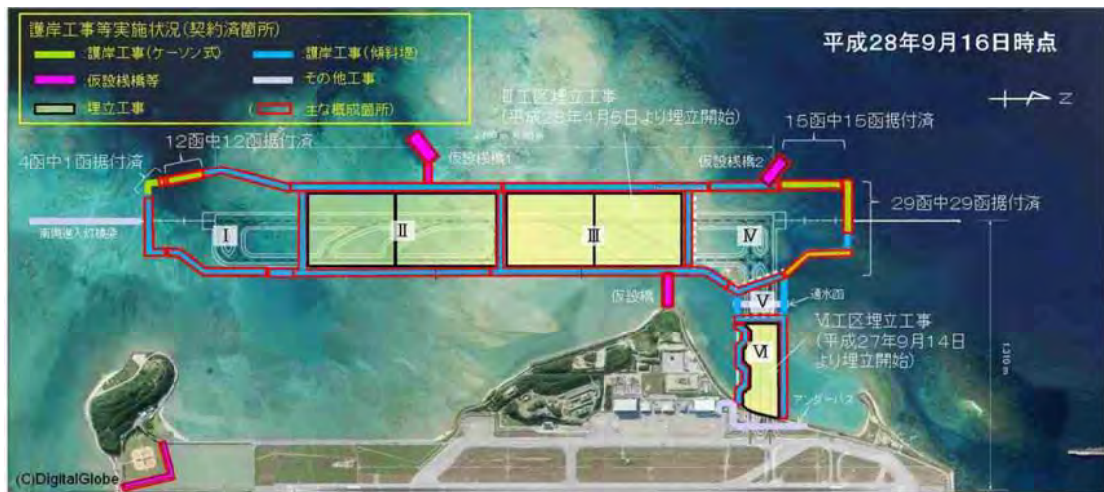


出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料に一部加筆

ア) 那覇空港第二滑走路

<概要>

- ・ 那覇空港滑走路増設事業は、平成 32 年 3 月末の供用に向けて整備を着実に推進
- ・ 工事着手は平成 26 年 1 月
- ・ 発着回数は年間約 5 万回増加する見込み (13.5 万回/年→ 18.5 万回/年)  
 ※ヘリコプター及び深夜離発着機は含まず
- ・ 滑走路 : 長さ 2,700m × 幅 60m (現滑走路の 1,310m 沖合)
- ・ 埋立面積 : 約 160ha



出典：那覇空港プロジェクト HP (沖縄総合事務局)



イ) 那覇バスターミナル

<概要>

- ・安全・快適な街づくりの一環として交通結節点機能を強化するため、バスターミナル地区の再開発事業が進められている。
- ・都市活動、都市生活を支えるための業務、商業、宿泊等多様な都市機能を導入
- ・バスターミナルは1階部分。平成30年度開業予定。

平成15年4月 都市計画決定

面積：約4.5ha（うち、バスターミナル約1.28ha・17バース）

道路：区画街路（市道旭町6号線、区画道路1号線）

その他：歩行者環境の利便を図るためペDESTリアンデッキを適宜配置

施設：事務所・ホテル・自治会館・南部合同庁舎・事務所・店舗・住宅76戸・駐車場



計画平面図



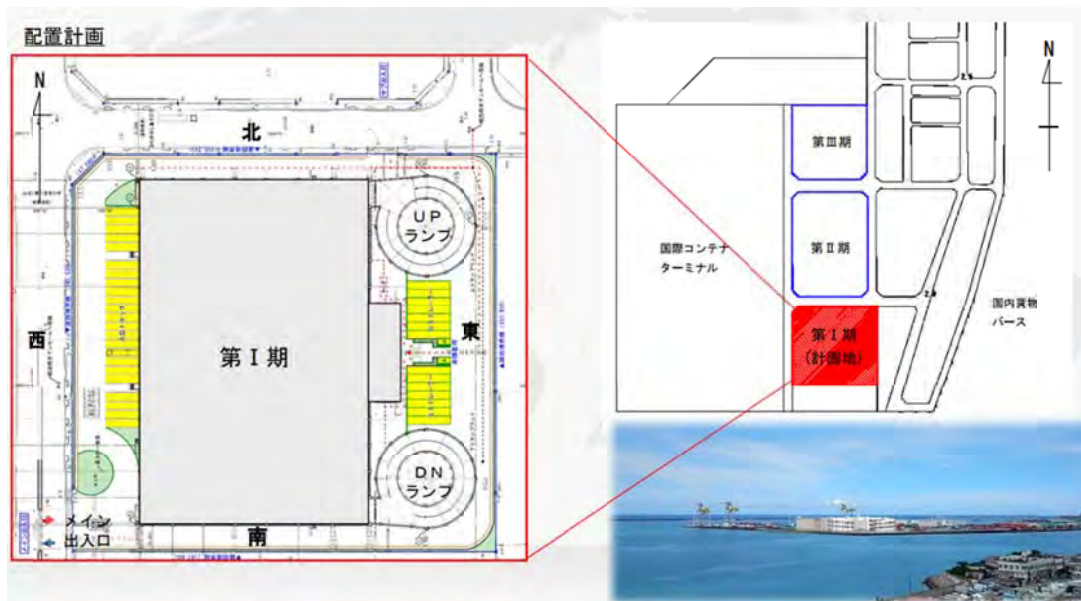
イメージ

出典：旭橋再開発株式会社 HP

ウ) 那覇港総合物流センター（Ⅰ期）

<概要>

- ・生活・産業関連貨物の集貨・創貨を促進することにより取扱貨物の増加を目指し、物流の高度化を図るとともに、流通加工等の新たな価値を生み出す付加価値型産業の集積を図る総合物流施設として整備するもの。
- ・PFI法に基づく貸付（維持管理・運営型PFI）を行う。平成30年度供用予定
- ・整備主体：那覇港管理組合
- ・事業期間：平成25年度～平成30年度（H26実施設計、H27～30建設工事）
- ・施設概要：3階建、専有区画面積約3.2ha マルチテナント型



完成予想図

出典：那覇港総合物流センター基本設計報告書（平成25年度那覇港管理組合）

那覇港管理組合の取り組み（那覇港総合物流センター整備・運営事業）

エ) 那覇港クルーズ船第 2 バース

< 道路諸元 >

- ・岸壁の拡張整備、新たなクルーズバースの確保などにより寄港増・大型化に対応。
- ・平成 28 年 3 月、那覇港管理組合は、那覇港長期構想検討委員会の第 4 回会合を開き、同組合が計画する新たなクルーズ船バース（岸壁）の建設位置を新港ふ頭地区西側とすることを決定。

- ・バースの長さ：約 430m を想定（世界最大級の 22 万トン級クルーズ船）

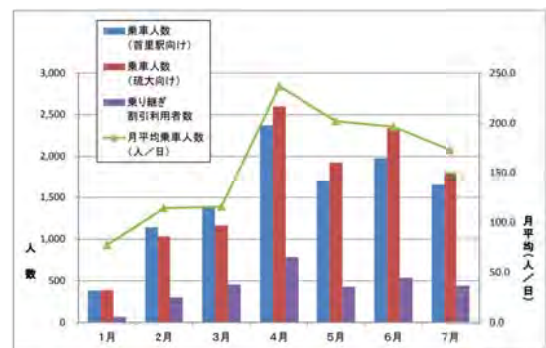


出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料

オ) 沖縄県 モノレール・バス乗り継ぎ実証実験結果について

<概要>

- ・モノレール首里駅から「首里駅琉大快速線」を運行
- ・期間：平成27年1月19日（月）～平成27年7月31日（金）
- ・運行日：平日のみ（土日祝祭日は運休）
- ・ルート：モノレール首里駅～琉球大学
- ・モノレールと首里駅琉大快速線を乗り継ぐことで50円の割引。



出典：沖縄県 HP

### カ) 自動走行システムの実証実験

<概要>

- ・平成 26 年から内閣府等が実施している戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)「自動走行システム」における沖縄県での大規模実証実験。
- ・平成 29 年の第 I ステップでは、南城市及び石垣市での実証実験 (自動運転の性能評価、モニター乗車、ヒアリング等)
- ・同年の第 II ステップでは、イオンモール沖縄ライカム～宜野湾マリーナでの実証実験 (公道上の通常の交通環境での技術実証、準天頂衛星や高精度 3 次元地図を活用した自動運転制御の安定性・信頼性向上のための実証、磁気マーカによる正着制御の実証、制御技術・センシング技術の高度化に向けた AI 技術活用可能性の検証等)
- ・平成 30 年の第 III ステップでは、実装に向けた低コスト化技術の検討等を行う予定。



出典：内閣府

### キ) レンタカー送迎実証実験

#### <概要>

- ・観光客の多くがレンタカーを利用することで那覇空港周辺が渋滞する問題を受け、県と沖縄総合事務局が実証実験に着手。
- ・夏のピーク時に利用者をバスでレンタカー営業拠点に送迎する。
- ・送迎先を中北部のホテルや観光施設まで伸ばし、現地での乗り換えを促すルート構築も視野に入れている。

#### <県の実証実験>

契約企業：OTS レンタカー、オリックスレンタカー、琉球バス

実験期間：平成 29 年 8 月 18 日～8 月 31 日

送迎先：豊見城市豊崎

特長：上記 2 社でレンタカーを予約した場合、期間限定運行している無料路線バスに乗車することができる。

#### <総合事務局の実証実験>

契約企業：ニッポンレンタカー

実験期間：平成 29 年 7 月 14 日～9 月 16 日

送迎先：波の上うみそら公園（臨時営業所を設置）

特長：渋滞のレンタカー送迎場所ではなく空港出口付近の専用バス乗り場から送迎バスが発着するため、混雑に巻き込まれず乗車できる。